

回覧⑦

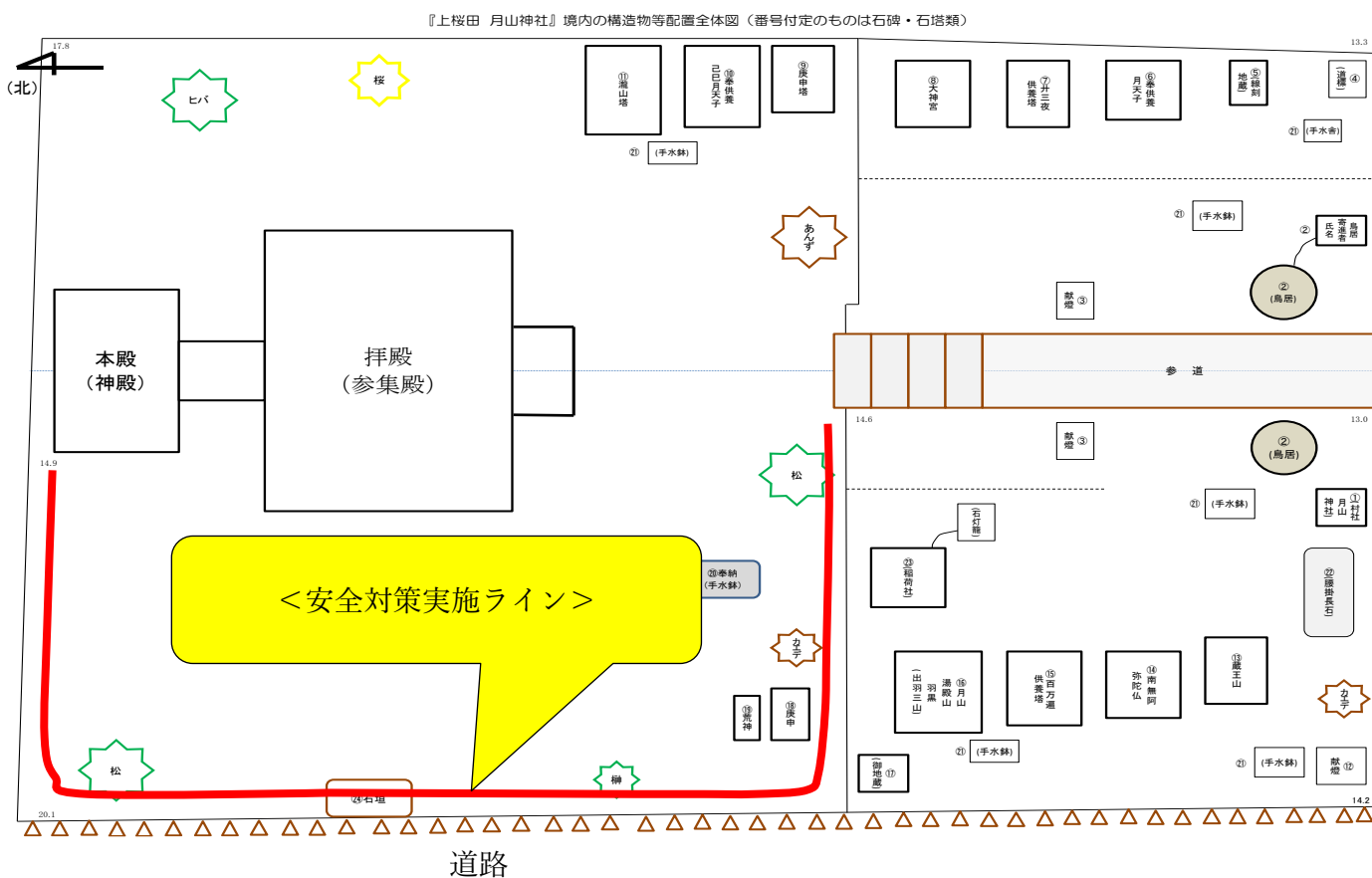
(上桜田) 月山神社

境内の安全対策について（情報提供）

平成 28 年 8 月 1 日

上桜田町内会長

同社境内は図－1のとおりで、東側に隣接する山形市立月山公園と一体となって、子供達の格好の遊び場となっています。その中で、西側面は下部市道とは2m近くの落差があります。とても危険です。危ないなあと思っていた先輩達は、転落防止安全対策用のロープを張っていました。その状況は、図－2のとおりで、木の杭を打って区画ロープを回しているものの、積雪等で曲がったり、腐食で弛んでおりました。倒れた木杭を直しても地盤が固く、近年は図－2の状態が続いておりました。



図－1

この度、先般は7月16日（土）午前中、町内会三役・月山神社関係者・自主参加者の5名で、いわゆる直営工事で、次の様な対策を実施しました。結果は図－3のとおりで、金棒（1.2m）を打ち込み、トラ（綱）ロープを2段に取り付けて、範囲は図－1の安全対策実施ラインの処に設置しました。

予想はしていたが、地中には碎石か自然石なのか、金杭を打って行くと当たってしまう所が何か所かあり、一直線上に打ち込む事が出来なく、数か所はジグザクの状態になってしまいました。



図－2



図－3

最後の仕上げとして、図－3右端のように「きけん（ゆすらないでね!）」と書いた注意喚起表示をA4版ラミネートにして、4個所に下げて見ました。これらの措置は完璧とはいい難いでしょうが、従来よりは改善されたと思っています。

なお、これらは、経年の自然変化は当然あるから、手直しは必要になってくるものと考えています。

.....

この機会に同社に係り残念な事が時々発生する事から紹介します。近年に発生した図－4をご覧ください。



図－4

同社拝殿の入り口左手にある手水舎（水鉢）には、同図の上2枚写真のように食べた物の殻が入っていました。また、同図最下部は、同社正面の石鳥居の東側脚元に放置した透明のビニール袋に入れた犬の糞です。どう見ても、子供の遊び・いたずらではありません。（速やかに処理しています。）

そういう人には罰が当たるとか当たらないとかの迷信的なものではなく、社会人としてのマナーの欠如という処ではないかと思います。

.....

最後にうれしくなる事を紹介します。

サラリーマン風の人が同社の東側入口に当たる芸工大前大通りにわざわざ車を止めて参拝する人や、ここ上桜田町内の人ではない、近隣町内の人なのか、散歩の折りに熱心に参拝する人、拝殿に神饌のお酒を手向けていく人などがおります。偶に声を掛けると次の様な感想を多く聞きます。「この神社の境内はいつもきれいです。気持ちがいいです。松やあんずの大古木が鬱蒼としていて杜を感じます。また、古い石碑がたくさん集められて整然としており、拝みたくります・・・。」

【編集後記】

重ねて申し上げますが、この境内一帯は、今も子供達の遊び場であり、時には年配の方達が休んでおります。心ある方は、自発的に草むしりやごみ拾いなどを行ったらいかがでしょうか。気持ちのいい憩いの場所にして行きたいと思っています。

以上

<町内会総務担当 大沼香>